

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 造形美術情報交流（派遣）
- (2) 造形美術情報交流（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 国内展（企画展）
- (5) 海外展（助成）
- (6) 国内展（助成）
- (7) 造形美術情報交流（催し）
- (8) 「愛・地球博」途上国支援事業

3. 催し等事業費（トリエンナーレ）

- (1) 国際展（横浜トリエンナーレ）

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 (1)造形美術情報交流（派遣）

内外の造形美術関係の情報を収集・整備し、外部に対して情報を提供する。

合計額 423,900円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	榊屋友子の（ドリス・デューク慈善財団）派遣	米国	05.10.15～ 05.10.31	ドリス・デューク慈善財団	イスラム美術の研究交流を行なうため、榊屋友子（東京大学東洋文化研究所助教授）をドリス・デューク財団慈善シャングリラに派遣した

1. 人物交流事業費 (2)造形美術情報交流（招へい）

海外の専門家の招へいを通じ、日本の美術情報の海外発信を行なうとともに、海外の美術情報を収集し、また人的ネットワークの拡充を図る。

合計額 6,237,072円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	アジア次世代美術館キュレーター招へい	韓国/中国/シンガポール/フィリピン/マレーシア	06.03.23～ 06.03.29	国立国際美術館/東京国立近代美術館	アジア5カ国から次世代を担う若手キュレーターを招へいし、日本のキュレーターと共に共通の課題についての議論を弁じ、域内のネットワーク構築と共同企画の可能性を探った
2	オーストラリア・グループ招へい	オーストラリア	05.09.19～ 05.09.29	－	2006年日豪交流年の準備の一環としてオーストラリアの若手美術関係者9名を日本に招へいし、日本側協力者と共に共同企画の協議と調査を行なった
3	中・東欧グループ招へい	スロバキア/スロベニア/チェコ/ハンガリー/ポーランド	05.12.05～ 05.12.18	－	日本の美術関係機関視察および関係者との交流を目的として、中・東欧の美術関係者8名を日本に招へいし、第2回横浜トリエンナーレを始め、日本の現代美術を紹介した

2. 催し等事業費 (1)国際展（国際展参加）

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 47,082,618円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	第11回インドトリエンナーレ	インド	ニューデリー	ラリット・カラ・アカデミー/ラビンドラ・バワン・ギャラリー	05.01.15～ 05.02.10	第11回インドトリエンナーレ日本参加の報告書を作成

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
2	第12回バン格拉デシュビエンナーレ	バンラデシュ	ダッカ	オスマニ記念ホール	06.03.05～ 06.03.31	1981年からアジア諸国の参加を中心に開催されてきた現代美術の国際展で、バンラデシュ・シルパカラ・アカデミーが主催。NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ(通称:AIT/エイト)のコミッショナーのもと、藤浩志と照屋勇賢がアーティストとして参加。藤浩志は優秀賞を受賞
3	第27回サンパウロビエンナーレ(準備)	ブラジル	サン・パウロ	チチロ・マタラッソ・パビリオン	06.10.07～ 06.12.17	第27回サンパウロビエンナーレへの参加のため、チーフ・キュレーターのリゼッチ・ラニヤードを招へいし、調査に協力した
4	第10回ヴェネチアビエンナーレ建築展(準備)	イタリア	ヴェネチア	カステロ公園内日本館	05.04.01～ 06.03.31	2006年ヴェネチアビエンナーレ建築展参加の準備を行なった
5	第51回ヴェネチアビエンナーレ美術展	イタリア	ヴェネチア	カステロ公園内日本館	05.06.12～ 05.11.06	笠原美智子(東京都現代美術館学芸員)をコミッショナーに石内都(写真家)の作品を「マザーズ2000-2005-未来の刻印」というタイトルで展示

2. 催し等事業費 (2)海外展(企画展)

海外の美術館・博物館などとの共催により、わが国の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 162,022,925円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	身体の夢展	韓国	ソウル	ソウル市立美術館	05.06.15～ 05.07.31	20世紀以降のファッションを身体という視点で切り取り、デザイナーの実験的な仕事と現代美術家たちの批評的な作品とを対峙させることで明日のファッションと身体との関係を展望する
2	アジアのキュビズム展	韓国 シンガポール	ソウル シンガポール	徳寿宮美術館 シンガポール美術館	05.11.10～ 06.01.30 06.02.18～ 06.04.09	日本をはじめ中国、韓国、インド等アジア11カ国のキュビズム作品約120点を通じてアジアの近代美術の共通性と差異を検証しつつアジアの近代を再考
3	日中交流年現代美術展(準備)	中国	-	-	05.10.31～ 06.03.31	2007年の中国との交流年に向けて、企画の準備を進めた
4	日豪日本現代美術展“Rapt!”(準備)	オーストラリア	-	-	05.04.01～ 06.03.31	2006年日豪交流年に合わせ同年秋に開催する日豪若手による共同企画のRapt!展の準備をした

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
5	日本の知覚展	オーストリア スペイン	グラーツ ビゴ	クンストハウス・グラーツ ビーゴ現代美術館	05.06.03～ 05.09.11 05.10.07～ 06.01.22	21世紀に入り、その独自性、特異性が注目される日本の芸術表現の展開を、「知覚」というキーワードをもとに読み解く画期的な展覧会。日欧交流年事業として、オーストリア、スペインの2カ国で開催
6	JIKI-日本の磁器 1610-1760	フランス ベルギー	パリ ブリュッセル	パリ日本文化会館 ベルギー王立美術歴史博物館	04.11.26～ 05.04.02 05.04.15～ 05.08.28	日本の磁器の誕生から、欧州向け輸出の開発、欧州磁器に与えた影響などを追った。特に、日本向けの作品と輸出用の作品の比較に焦点を当て、また伊万里焼を写した欧州磁器も展示。パリ、ブリュッセルについては「日-EU市民交流年」関連事業
7	型紙展	フランス	パリ	-	05.08.01～ 06.03.31	平成18年度パリ日本文化会館にて開催の展覧会準備を行なった
8	Yokai-日本のお化け図鑑	フランス	パリ	パリ日本文化会館	05.10.26～ 06.01.28	「こわい」と「かわいい」の共存する不思議な存在としての日本の妖怪について、絵巻物や浮世絵、さらに現代の漫画作品を通じて紹介し、日本人独特のユーモアや想像力の豊かさを展示
9	坂本一成建築展	デンマーク ドイツ ノルウェー エストニア チェコ	コペンハーゲン ミュンヘン オスロ トロンハイム ハーブサル プラハ ブルノ	王立デンマーク芸術大学建築学部 ピナコテーク・デア・モデルネ建築博物館 オスロ建築単科大学 ノルウェー科学技術大学 ハーブサル市文化センター アドリア宮殿内「ギャラリー・クリティク」 ブルノ建築美術館	05.03.18～ 05.04.24 04.10.21～ 05.01.09 05.05.04～ 05.05.17 05.05.25～ 05.06.11 05.07.01～ 05.08.07 05.11.21～ 05.12.18 05.09.06～ 06.10.16	日本における住宅建築の第一人者である坂本一成（東工大教授）の作品を写真、図面、模型等を通して紹介
10	日本の子ども展	ウクライナ /ヨルダン/ レバノン/ スーダン	-	-	05.12.15～ 06.03.31	平成18年度「中東との集中的文化交流事業」の一環として企画された展覧会の準備を行なった

造形美術事業費

2. 催し等事業費 (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化に関する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 135,870,911円

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
1	現代日本デザイン100選	韓国	釜山	釜山市立美術館 龍頭山美術展示館	05.04.29～ 05.05.15	人々の思考や生活スタイルを反映している身近な日用品のデザイン約100点を中心に、日本のデザインを紹介した巡回展
		米国	デンバー	メトロポリタン 州立大学デン バー校ビジュアル・ アーツ・セ ンター	05.06.30～ 05.08.27	
		メキシコ	ワシントン DC	在米国大使館広 報文化センター	06.01.18～ 06.02.28	
			サウス フィールド	ローレンス工科 大学	06.03.07～ 06.03.28	
			グアナフア ト	グアナフアト州 立劇場	05.10.05～ 05.10.23	
2	手仕事のかたち	韓国	釜山	釜山市立美術館 /龍頭山美術展 示館	05.10.06～ 05.10.16	日本各地で生まれた伝統的な工芸品の中から、伝産法で指定する「伝統的工芸品」を中心に、陶磁器・染織・漆器・金工品・ガラス工芸・木竹工品・和紙・文具の各ジャンルから代表的なものを紹介
			済州	在済州総領事館 広報文化セン ター「たむな・ ほーる」	05.10.21～ 05.10.28	
		インド	デリー	ラリット・カ ラ・アカデミー	05.11.20～ 05.12.04	
			コルカタ	コルカタ・イン フォメーション センター	05.12.20～ 05.12.26	
			チェンナイ	ラリット・カ ラ・アカデミー	06.01.09～ 06.01.17	
			ムンバイ	ラヴィンドラ・ ナティヤ・マン ディール	06.01.31～ 06.02.05	
		オーストラ リア	キャンベラ	豪州国立博物館	06.03.24～ 06.04.26	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容			
3	ポスターに見る日本A	中国	大連	大連市図書館	05.11.12～ 05.11.20	グラフィックデザイナーによる90年代後半の商業広告ポスター75点を通じて現代日本社会を紹介			
			瀋陽	瀋陽市図書館	05.11.25～ 05.12.04				
			浙江省寧波	寧波美術館	05.12.08～ 05.12.15				
			重慶	西南大学美術学院展示ホール	05.12.22～ 05.12.29				
		モンゴル	ウラン・バートル	モンゴル国立現代美術館	05.10.14～ 05.10.29				
		ブルネイ	バンドル・スリ・プガワン	アートギャラリー/ハンディクラフト・センター・ビル	05.04.13～ 06.04.20				
		ベトナム	ハノイ	日越人材協力センター	05.09.16～ 05.09.30				
		マレーシア	クアラルンプール	国立美術館	05.05.07～ 05.05.29				
			コタ・キナバル	サバ州美術館	05.06.04～ 05.07.03				
			ペナン	ペナン・アート・ギャラリー	05.07.15～ 05.07.30				
		パキスタン	カラチ	V.M.アートギャラリー	06.01.25～ 06.02.18				
		パプアニューギニア	ポートモレスビー	パプアニューギニア大学図書館	05.08.15～ 06.08.25				
		4	90年代の絵画展	中国	香港		香港藝術中心	05.12.08～ 06.01.15	会田誠、越前谷嘉高、小林孝亘、太郎知恵蔵、奈良美智、額田宣彦、福田美蘭、丸山直文、村上隆が、1990年代に30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介
					広州		広東美術館	06.03.31～ 06.04.16	
クウェート	クウェート			クウェート国家文化芸術文芸委員会所管アル・フヌーン・ギャラリー	05.05.18～ 05.06.07				
トルコ	イスタンブール			カドキョイ区中央芸術ギャラリー	05.07.07～ 05.07.21				
	ヤロヴァ			カリズマ・ビジネス・センター	05.08.05～ 05.08.28				
	アンカラ			トルコ日本基金文化センター	05.10.07～ 05.10.25				

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容	
5	日本人形F	フィリピン	バギオ	バギオ市コンベンションセンター	05.03.03～ 05.03.12	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介	
			マリキナ	マリキナ・リバーバンク・ショッピングセンター	06.01.27～ 06.02.05		
			ピリ	南カマリネス州首都コンプレックス	06.02.10～ 06.02.19		
		ロシア	ハバロフスク	極東美術館	05.09.16～ 05.10.07		
			ウラジオストク	沿海地方国立美術館	05.10.20～ 05.11.06		
			ユジノサハリンスク	サハリン州立図書館	05.12.01～ 05.12.16		
6	日本現代建築：1985－1996展B	インド	バンガロール	インド都市立案者協会	05.04.05～ 05.04.18		1985年から1996年までに竣工した日本の建築作品の中から100点を選び、その存在する「場所」をテーマとして、7つのカテゴリー（メトロポリス/中規模都市/市町村/郊外/埋立地/田園/別荘）に分けて写真パネルにより紹介
		スリランカ	キャンデー コロombo	キャンディ市立図書館 コロombo市役所	05.05.06～ 05.05.09 05.05.13～ 05.05.16		
		パキスタン	カラチ	ラングーンワラ・コミュニティ・センター	05.06.20～ 05.06.25		
			ハイデラバード	シンド州立博物館	05.06.28～ 05.07.01		
			イスラマバード	国立美術館	05.07.12～ 05.07.20		

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
7	日本のクレイワーク展	ネパール バングラデシュ オーストラリア ニューージーランド パラオ	カトマンズ ダッカ ゴールド・コースト パース メルボルン ホバート クライストチャーチ ダニーデン オークランド コロール	ネパール芸術評議会ギャラリー 国立博物館 ゴールドコーストシティ・アートギャラリー セントラルティフ・アートギャラリー マニンハム・ギャラリー サラマンカ・アート・センター内ロング・ギャラリー コカ(センター・オブ・コンテンポラリー・アート) オタゴ美術館 ロプデル・ハウス・ギャラリー ベラウ国立博物館	06.03.21～ 06.04.02 06.02.07～ 06.02.18 05.04.21～ 05.05.16 05.06.03～ 05.06.23 05.07.07～ 05.07.23 05.07.30～ 05.08.14 05.09.06～ 05.09.17 05.09.24～ 05.10.03 05.11.12～ 05.11.27 05.12.13～ 06.01.14	50年代から90年代のクレイワーク(陶を素材とした立体造形)について、代表的作家29名の作品44点を紹介
8	くまもとアートポリス	カナダ 米国 コスタリカ ベネズエラ	トロント シカゴ オマハ アンカレジ ロサンゼルス サンホセ カラカス	トロント日本文化センター 在シカゴ総領事館広報文化センター ネブラスカ州立大学オマハ校 ズィー・ジェイ・ルーサック・アンカレジ市立図書館 UCLA大学建築学部内パーロフ・ギャラリー ラファエル・アンヘルカルデロン・グアルディア博士歴史美術館 エスタンシア文化センター	05.05.16～ 05.06.08 05.06.27～ 05.08.03 05.08.12～ 05.09.19 05.10.07～ 05.10.28 05.11.14～ 05.12.23 05.04.14～ 05.05.03 06.02.07～ 06.02.28	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
9	現代日本の工芸	米国	アンカレジ	アンカレジ歴史美術博物館	05.03.06～ 05.04.09	現代日本の工芸の状況を、共通する6つの特色-華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥-に分類し、陶器、竹細工、漆、ガラス、石などの作品64点を紹介

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
10	日本人形展	米国	アトランタ	エモリー大学 ウッドラフ図書館 シャッペン・ギャラリー	05.09.07～ 05.10.23	伝統的な「雛人形」や「五月人形」をはじめ、日本各地で様々な形で発展した人形の中から特色のあるものを紹介
			オクラホマ州タルサ市	リチャードソン・アジア・アーツ美術館	05.11.11～ 05.12.18	
		ギリシャ	テッサロニキ	テッサロニキ音楽堂展示場	05.03.13～ 05.04.12	
		エジプト	カイロ	カイロ・オペラハウス・ギャラリー	06.02.09～ 06.02.20	
11	写真展「自然に潜む日本」展	エルサルバドル	サンタアナ	国立サンタアナ劇場	05.04.14～ 05.04.30	矢萩喜従郎（写真家）の写真作品を中心に日本の風景をモノクロの写真85点で紹介
			サンサルバドル	ショッピング・センター「ガレリアス」	05.05.04～ 05.05.22	
		キューバ	ハバナ	ホセ・マルティ国立図書館	06.02.13～ 06.02.23	
		グアテマラ	グアテマラ	国家宮殿展示室	05.06.28～ 05.07.27	
			アンティグア	サント・ドミンゴ文化センターホール	05.07.30～ 05.08.24	
		コスタリカ	サンホセ	ナショナルギャラリー	05.10.13～ 05.11.08	
		ドミニカ共和国	サントドミンゴ	ドミニカ人類博物館	06.03.15～ 06.04.09	
		パナマ	パナマ	パナマ工科大学	05.11.25～ 05.12.09	
		ホンジュラス	サン・ペドロ・スラテグシガルパ	サイベ劇場	05.09.06～ 05.09.16	
				アトランディータ銀行文化ホール	05.09.20～ 05.09.30	

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
12	こけしの世界展B	エルサルバドル	サンタアナ	国立サンタアナ劇場	05.09.23～ 05.10.10	日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介
		エルサルバドル	サンサルバドル	ショッピングセンター「ガレリアス」	05.10.14～ 05.10.30	
		ニカラグア	マナグア	国立文化宮殿	05.12.06～ 05.12.20	
		アルゼンチン	コルドバ	コルドバ市展示会場	05.06.24～ 05.07.04	
		アルゼンチン	ブエノス・アイレス	日本庭園	05.07.10～ 06.07.20	
		コロンビア	カリ	コンファンディ文化センター	06.02.01～ 06.02.24	
		コロンビア	ボゴタ	ルイス・アンヘル・アランゴ図書館	06.03.01～ 06.03.26	
		パラグアイ	アスンシオン	パラグアイ・日本人造りセンター	05.08.04～ 05.08.23	
		ブラジル	リベイロン・プレート	サンパウロ大学リベイロン・プレット市キャンパス医学部	05.05.11～ 05.06.05	
13	現代日本の陶磁器	ドミニカ共和国	サントドミンゴ	現代美術館	05.03.08～ 05.05.01	
		ドミニカ共和国	サンティアゴ	シバオ劇場	05.05.12～ 05.05.31	
		ウルグアイ	モンテビデオ	タランコ宮殿	05.08.12～ 05.08.26	
		チリ	サンチャゴ	プロヴィデンシア彫刻公園展示センター	05.07.06～ 05.07.26	
		ブラジル	ベロ・オリゾンテ	セシミナス芸術ギャラリー	05.09.12～ 05.09.25	
		ブラジル	サン・パウロ	サンパウロ美術館	05.10.02～ 05.10.30	
		ブラジル	マナウス	リオ・ネグロ宮殿文化センター	05.11.16～ 05.12.02	
		ブラジル	レシフェ	伯国中央銀行レシフェ事務所	05.12.13～ 05.12.22	
		ブラジル	ベレン	エスタソン・ダス・ドカス	06.01.04～ 06.01.17	
		ブラジル	マリンガー	マリンガ市芸術博物館	06.01.28～ 06.02.19	
		ブラジル	ポルト・アレグレ	リオグランデドスル州立美術館	06.02.23～ 06.03.26	
		ブラジル	フロリアノーポリス	サンタカタリーナ州立美術館	06.03.31～ 06.04.14	

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
14	日本現代建築 1985-1996展 A	メキシコ	メキシコシ ティ プエブラ オアハカ	メキシコ国立自 治大学建築学部 イベロアメリカ 大学 カーサ・デ・ラ・ シウダッド	05.05.02～ 05.05.13 05.05.19～ 05.06.03 05.06.17～ 05.07.25	メキシコ事務所に移管し、1985年から 1996年までに竣工した日本の建築作品の 中から100点を選び、その存在する「場所」 をテーマとして、7つのカテゴリー（メト ロポリス/中規模都市/市町村/郊外/埋立 地/田園/別荘）に分けて写真パネルによ り紹介
15	Out of the ordinary	イタリア 英国 ドイツ	ローマ ロンドン アベリース トウイス ベルリン	ローマ日本文化 会館 アーツ・デポー ウェールズ大学 アベリースト ウイス・アー ト・センター ベルリン東アジ ア美術館	05.04.11～ 05.05.11 05.10.27～ 05.11.24 06.01.09～ 06.02.11 05.06.02～ 05.08.14	過去の価値観が通用しなくなっている現 在の状況を直視し、新たな表現の可能性 にとりこんでいる写真家11名の102作品 を紹介
16	スピリトを写 す	英国	ニュータウ ン パーク シャー	オリエル・デイ ビス・ギャラ リー サウス・ヒル・ パーク・アー ト・センター	05.03.19～ 05.04.30 05.05.14～ 05.07.03	細江英公、杉本博司、片瀬和夫ら11名の 作品を通して、精神的な基盤が失われた 時代に、物質的な現実には隠された見えな いものがもっているであろう価値を表現 しようとする作家たちの姿を紹介
17	伝統陶芸	オランダ フランス ポルトガル ハンガリー ブルガリア ボスニア・ ヘルツェゴ ビナ ルーマニア	ハーグ サン・ テューズ カスカイス ザラエゲル セグ スタラ・ザ ゴラ サラエボ ブカレスト	ミュージアム・ メスダック メゾン・ド・ラ・ セラミック カスカイス文化 センター 市音楽会場（タ ウンホール） スタラ・ザゴラ 市美術館 国立ギャラリー ルーマニア国立 美術館	05.11.05～ 05.12.31 06.01.14～ 06.02.18 05.09.17～ 05.10.23 05.07.07～ 05.08.26 05.05.05～ 05.05.19 05.06.03～ 05.06.16 05.03.23～ 05.04.22	河井寛二郎、濱田庄司など日本の陶芸を 世界に知らしめた個人陶芸家および日本 の伝統陶芸界の第一線で活躍している作 家55名の作品65点を紹介

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
18	ポスターに見る日本B	ギリシャ	ミティリニ	ストラティ・エレフテリア ディ・テリアード美術館	05.07.19～ 05.08.18	グラフィックデザイナーによる90年代後半の公共広告75点を通じて現代日本社会を紹介
		ノルウェー	トューリ・フィヨルド	ホーレ・アートセンター	05.11.12～ 05.12.18	
		フランス	メッス	メッス市図書館	05.03.03～ 05.04.15	
		アゼルバイジャン	バクー	アゼルバイジャン国立絨毯・民族芸術博物館	06.01.14～ 06.01.30	
		ウズベキスタン	タシケント	ウズベキスタン芸術アカデミー 現代芸術センター	06.03.17～ 06.04.02	
		カザフスタン	アスタナ	大統領文化センター	06.02.15～ 06.02.26	
		クロアチア	ザグレブ	クロアチア科学芸術アカデミー ギャラリー グリプトテカ	05.05.03～ 05.05.18	
		スロバキア	ブラチスラバ	ブラチスラバ大学図書館	05.09.07～ 05.09.21	
		セルビア・モンテネグロ	ノヴィ・サド	セルビア国立劇場	05.06.06～ 05.06.30	
		19	日本の新世代アーティスト展	ギリシャ	アテネ	
フィンランド	ユヴァスキュラ			中部フィンランド博物館	05.04.15～ 05.04.30	
スロベニア	ツェリエ			ツェリエ現代美術館	05.06.16～ 05.08.15	
ポーランド	ヴロツラフ			ガレリア・ナ・チステイ	05.10.27～ 05.11.20	
ラトビア	リガ			ラトビア芸術家協会ギャラリー	05.09.06～ 05.10.08	

造形美術事業費

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
20	写楽再見	スペイン	ラスパルマス・デ・グランカナリア	カナリア金融公庫文化センター	05.11.07～ 05.11.23	歌舞伎役者を描いた独特の大首絵によって内外から高い評価を得ている東洲斎写楽をテーマとし、日本の今日の現代美術作家がこの傑出した浮世絵師を自由に解釈して制作したポスター、絵画、立体作品等を紹介
			パリアド	文化・スポーツ	05.12.02～	
			リッド	市営財団	06.01.02	
			アリカンテ	アンカリテ大学	06.01.18～	
		ウクライナ	リビフ	リビフ美術会館	06.02.18	
				公共展示センター	05.07.08～ 05.07.24	
			オデッサ	オデッサ市立西洋東洋美術館	05.08.05～ 05.08.20	
		スロバキア	ブラチスラバ	ブラチスラバ市立博物館	05.05.10～ 05.06.19	
		チェコ	リベレッツ	北ボヘミア博物館	05.03.31～ 05.05.01	
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ	サラエボ芸術学院	06.03.01～ 06.03.17	
			モスタル	モスタル文化センター	06.03.23～ 06.04.12	
		ロシア	チェリャビンスク	チェリャビンスク州立絵画ギャラリー	05.09.06～ 05.09.24	
			カザン	タタール国立美術館内タタール日本文化センター	05.10.01～ 05.10.19	
21	凧・独楽展F	カザフスタン	アスタナ	大統領文化センター	05.04.08～ 05.04.17	
			アルマティ	国立芸術博物館	05.05.12～ 05.05.25	
		イエメン	サヌア	文化の館	05.12.04～ 05.12.11	
			タイズ	サイド科学文化基金グローリーホール	05.12.14～ 05.12.24	
		スーダン	ハルツーム	ニーレン大学	06.02.13～ 06.02.22	
		ガーナ	アクラ	ガーナ国立博物館	05.09.13～ 05.09.26	
		ナイジェリア	アブジャ	アブジャ・アート・カウンシル	05.10.28～ 05.11.07	
				画廊ロビー		

	事業名	国	都市	会場	期間	事業内容
22	日本の版画	カタール クウェート サウジアラビア シリア ヨルダン モロッコ	ドーハ クウェート リヤド アレppo イルビト アンマン マアン ラバト	ドーハ・アート・ギャラリー 国立現代美術館 国立博物館 アレppo大学日本学術交流センター中央図書館 ダール・アル・バース・ギャラリー 国立ヤルムーク大学 王立文化センター展示ホール フセイン・ビン・タラール大学多目的ホール ギャラリー・モハメッド・エル・ファスイ	05.11.16～ 05.12.06 05.12.19～ 05.12.28 05.04.16～ 05.04.26 05.09.29～ 05.10.06 05.10.13～ 05.10.20 05.05.15～ 05.05.22 05.05.25～ 05.06.01 05.07.21～ 05.07.31 06.03.21～ 06.04.04	20世紀後半に活躍した46作家の代表作を含む計75点の版画作品を紹介
23	こけしの世界展A	アルジェリア	アルジェ	文化芸術センター・ライス宮殿「バスチョン23」	05.05.23～ 05.06.09	日本の代表的な郷土人形であるこけしの様式・技法等の特色を作品約70点により、総合的に紹介
24	戦後日本写真展	-	-	-	05.04.01～ 06.03.31	国際交流基金所蔵の写真作品を中心に巡回展を制作（製作準備）

2. 催し等事業費 (4)国内展（企画展）

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 22,427,620円

	事業名	都市	会場	期間	共催者	事業内容
1	アジアのキュビズム展	東京都	東京国立近代美術館	05.08.09～ 05.10.02	東京国立近代美術館/ 韓国国立現代美術館/ シンガポール美術館	日本をはじめ中国、韓国、インド等アジア11カ国のキュビズム作品約120点を通じてアジアの近代美術の共通性と差異を探りつつアジアの近代を再考した

造形美術事業費

	事業名	都市	会場	期間	共催者	事業内容
2	転換期の作法 -ポーランド、 チェコ、スロ ヴァキア、ハ ンガリーの現 代美術	東京都 大阪市 広島市	東京都現代 美術館 国立国際美 術館 広島市現代 美術館	06.01.21～ 06.03.26 05.08.02～ 05.10.10 05.10.29～ 06.01.08	-	20世紀末から21世紀初頭にかけて激動の時 代を体験している中東欧地域の現代美術を 紹介
3	日本の知覚展 帰国展(準備)	川崎市	川崎市岡本 太郎美術館	05.04.01～ 06.03.31	-	グラーツ、ビゴにて開催され好評を博した 「日本の知覚展」の帰国展を、川崎市岡本太 郎美術館と共催にて開催するための準備

2. 催し等事業費 (5) 海外展 (助成)

内外の美術館などが主催し海外で開催する日本の美術・文化紹介に関する展覧会に対し、経費の一部を助成する。
合計額 32,348,620円

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
1	Publicly Speaking	韓国(ソウル)	SSamzie Space	05.06.03～ 06.07.16	展覧会やレジデンスを通じて若手作家の育成に力を注ぐ NPOのアートスペースであるSSamzie Space と、同じく NPOとして多彩な活動を展開する日本の若手クリエイ ターの集団であるA I Tによる共同事業。キュレイ ター、作家のレジデンスと展覧会、ビデオ上映会、レク チャーなどを交換事業としてソウルと東京で実施
2	DMZ_2005	韓国(ソウル)	Heri Vilage, Unification Towwer, etc	05.06.25～ 06.07.24	韓国と北朝鮮の国境に近い地区で開催されたアーティス ト村において国際的に活躍する作家を世界各国から招へ いして実施した現代美術展
3	Animate	韓国(ソウル)	Sungkok Art Museum	05.09.08～ 06.10.30	1960年代以降、マンガやアニメと共に成長してきた日本 と韓国の現代美術作家9名による、アニメとアートの間 を横断する現代美術展。福岡アジア美術館で実施された 展示内容を中核に韓国で展示。日本からは会田誠、西山 美なコ、青木綾子+伊藤存、韓国からはムン・キョンウォ ン、チェ・ホチュル、イ・トンギなどが参加
4	CP BIENNALE 2005: URBAN/ CULTURE	インドネシア (ジャカルタ)	インドネシ ア銀行本店	05.09.05～ 06.10.05	インドネシアのジャカルタで2003年に開始された国際展 の第二回目。インドネシア人作家をメインに外国人作家 を加えて実施し、今回のテーマである都市と建築にあわ せて建築家も参加
5	White Noise	オーストラリ ア(メルボル ン)	ACMI Screen Gallery	05.08.18～ 05.10.23	池田亮司を含む国際的に活躍する4人の作家(他にUlf langheinrich, Ernest Edmonds, Mark Fell)の作品を展 示した「光+音+形」を総合した内容の展覧会

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
6	Experimenta Illusion Exhibition	オーストラリア(メルボルン)	Black Box, Victorian Arts Centre and National Gallery of Victoria	05.09.01～ 05.10.02	「イリュージョン」をテーマにデジタルを駆使した最新のメディアアート展。日本からは若い作家たちのコラボレーション(神里亜樹雄+柴田聡+真下武久) "Moony" と minim++ の "Toy's Life" の2作品などが出品された
7	Tatsuo Miyajima visit to Australia and production and exhibition of new work	オーストラリア(アデレード)	Contemporary Arts Centre of South Australia	05.09.09～ 05.10.23	宮島達男を招へいし、南オーストラリア現代芸術センターのギャラリーにおいて展覧会を実施すると同時に、南オーストラリア大学においてレジデンスをしながら学生への講義、ワークショップや一般向けのレクチャーを行なった
8	The art of Japanese fashion	オーストラリア(シドニー)	Powerhouse Museum	05.09.20～ 06.01.31	70年代から現在までの三宅一生、山本耀司、川久保玲などのファッション業界のリーダーたちの作品や関連アクセサリー、写真を展示し、現代日本のファッションデザインを総合的に展示
9	Japanese Architecture in Palau 50th Year Anniversary of the Belau National Museum	パラオ(コロール)	ベラウ国立博物館	05.09.30～ 06.03.31	ベラウ国立博物館の新館オープンと設立50周年を記念して、パラオに残る日本統治時代の歴史的建造物の模型や既に存在しない建造物の図面や模型を復元して展示
10	Little Boy: The Arts of Japan's Exploding Subcultures	米国(ニューヨーク)	Japan Society, Inc.	05.04.08～ 05.07.24	村上隆をキュレーターにオタクをテーマに開催される大規模企画展。日本の大衆グラフィックアートや「ネオ・ポップ」アートの文化的・歴史的文脈を探る「スーパーフラット」三部作の最後を飾る展覧会
11	Japanese Kite Prints	米国(マウイ)	Hui No'eau Visual Arts Center	06.04.28～ 06.06.30	風にまつわる版画を特集した「Japanese Kite Prints」(ワシントン大学出版、2004年)から選ばれた48点のレプリカで構成される展覧会の制作巡回
12	Becoming Animal	米国(マサチューセッツ)	Massachusetts Museum of Contemporary Art	05.05.28～ 06.03.31	現代社会における人間と動物の境界線のゆらぎをテーマに、世界各国のアーティスト12人の作品から構成される展覧会で、日本からは小谷元彦が参加した

造形美術事業費

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
13	The Rozome Master of Japan	米国(ワシントン) (ボストン)	Textile Museum Massachusetts College of Art	05.06.10～ 05.09.21	30カ国から400名が参加して開催される世界ろう染め会議と併せて実施された企画展で、日本のろうけつ染め作家15名の作品を紹介
14	Anime: an Overview	米国(ニューヨーク)	The Museum of Modern Art	05.07.10～ 05.09.12	過去30年間に制作された日本の「アニメ」を概観する企画展で、約20本のアニメ劇映画と約30本のTVアニメ番組の上映会、原画展を実施
15	Ecstasy: In and About Altered States	米国(ロス・アンジェルス)	The Museum of Contemporary Art MOCA	05.10.09～ 06.02.20	「エクスタシー(恍惚)」をテーマに、世界的に活躍しているアーティスト25名の作品から構成される展覧会で、日本からは青島千穂、村上隆、西野達郎が参加
16	The Power of Girl's Comics: What Can Shojo Manga Tell You?	米国(チーコ)	California State University, Chico	05.10.27～ 05.12.14	1935年から現在にかけて発表された少女漫画20作品を通して、描かれている男女の役割と独特の表現スタイルを分析する展覧会。カリフォルニア、イリノイ、ペンシルバニア諸州の大学や美術学校に巡回
17	Wearing Propaganda: Textiles on the Home Front in Japan, Britain, and the United States, 1931-1945	米国(ニューヨーク)	Bard Graduate Center	05.11.18～ 06.02.12	日本の十五年戦争においてプロパガンダの媒体として一般市民の織物デザインがいかにかに利用され、国民を戦争に動員したかを英米の同時期の織物デザインと比較しながら考察する企画展
18	HARMONY - Sculpture & Environment	イタリア(ローマ/テラモ)	Museo Venanzo Crocetti/ Museo di Banca di Teramo	05.04.22～ 05.07.20	村井修(写真家)の撮影による、世界の公共彫刻の好例を写した写真のパネル展示。日本からは135点、日本人作家による海外の例6点など、全体で356点のパネルを紹介
19	Shogun Exhibition	英国(リーズ)	Royal Armouries Museum	05.06.05～ 05.07.17	徳川家康の時代を象徴するような武具、芸術作品、衣装、書類など様々な展示品を、主に日光東照宮のコレクション等によって構成
20	Kabuki Heroes on the Osaka Stage, 1780-1830	英国(ロンドン)	The British Museum	05.06.30～ 05.09.11	18世紀から19世紀にかけての歌舞伎役者が、いかに時代の英雄となったかを、現代のアイコンが生まれるプロセスにのっとって検証する展覧会。300点の作品が出品された。大阪歴史博物館にて帰国展を開催

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
21	Nobuyoshi Araki: Work	英国(ロンドン)	Barbican Art Gallery	05.10.06～ 06.01.22	荒木経惟のロンドンにおける初の大規模な回顧展。4,000点を超える作品により1960年代から現在にわたるアラキの業績を紹介
22	UKIYO-E RELOADED	オーストリア(ウィーン)	Austrian Museum of Applied Arts / Contemporary Art	05.11.29～ 06.03.26	オーストリア応用美術館が、自館が所蔵する17世紀から20世紀にかけての浮世絵のコレクションによる展覧会を開催した。日本の浮世絵にみる大衆文化をメインコンセプトとし、スターとしてのアーティスト、スターとしての役者、スターとしての美人力などの現象を考察した
23	Gerd Knaepper Objects	ギリシャ(アテネ)	Benaki Museum	05.04.08～ 05.05.29	日本在住の陶芸家であるGerd Knaepperの59点の陶芸作品、金属彫刻など計69点をベナキ美術館新館にて展示
24	JAPAN	スウェーデン(マルメ)	Rooseum Center for Contemporary Art	05.05.20～ 05.07.17	スウェーデン第3の都市で南部商業・学芸のメッカでもあるマルメにおいて、古郷卓司が電子メディアアートプロジェクトを約2カ月のレジデンシーの成果として発表
25	J'en rêve	フランス(パリ)	Fondation Cartier pour l'Art Contemporain	05.06.24～ 05.10.30	今後が注目される世界の20代のアーティスト58人を一堂に紹介。日本からは村上隆、森村泰昌、森山大道、杉本博司、東芋らの推薦による5名の若手作家に加え、松井えり菜、竹山ゆう子が出品
26	Shadows and Light - The Shadow's dream	フランス(パリ)	Centre Georges Pompidou	05.06.27～ 06.01.02	現代美術と影絵を融合させた、青少年と家族を対象としたインタラクティブな展覧会。日本からは Minim++ が展覧会の重要な一部として参加した
27	Traditional Arts of Japan	フランス(ストラスブール)	ストラスブール大学ホール/欧州議会	05.08.24～ 05.10.18	和紙、絹、刀剣、畳といった芸術・工芸作品を、技術的、経済的、美的な面から解説し、多くの伝統芸術が深く日本の生活の中に溶け込んでいる姿を展示
28	Japan- the culture and art of the Edo period (1603-1867) - A flourishing time under the shogun	デンマーク(コリングフース)	Museum in Koldinghus	05.08.20～ 06.01.08	江戸時代の文化と芸術をテーマとした展覧会。デンマーク国立博物館との共催。浮世絵、図会、漆器、陶器や生活文化を伝える展示品が紹介された
29	Chiharu Shiota "Room"	ドイツ(ベルリン)	Haus am Lützowplatz	05.12.04～ 06.02.12	「日本におけるドイツ年」、「日-EU市民交流年」の事業の一環として、ドイツ、日本双方に在住する塩田千春の展覧会を実施
30	Fascinating Japanese Textiles	ベルギー(トゥルネ)	トゥルネ文化会館/タビストリー博物館他	05.06.04～ 05.09.11	現代テキスタイルアートの主要な国際展の第5回展において、日本をハイライトにとりあげた。作家33名の作品のほとんどがヨーロッパ初展示

造形美術事業費

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
31	26th Graphic Biennial Ljubljana	スロベニア (リュブリャナ)	-	05.06.23～ 05.10.02	50年の歴史をもつリュブリャナ・ビエンナーレの第26回展。今回は、セゾン現代美術館の荻原佐和子を日本側のキュレーターとして版画作品の選定を行なった
32	Journal of a Voyage, The Erwin Dubsy Collection: Photographs from Japan and China in the 1870s	チェコ(ブルノ) (Lysice)	The Moravian Gallery in Brno Lysice Castle Museum	05.03.03～ 05.05.21 05.07.01～ 05.10.01	1874年にチェコ人として初めて来日した、Erwin Dubsyが収集した日本写真展。幕末から明治期に写された日本各地の写真160点を通じて、当時の風土・民俗を紹介。またDubsyのコレクションから、合わせて陶磁器や漆器などの作品も展示
33	KUNISADA - Master of the Late Japanese Woodcut	チェコ(プラハ)	Zbraslav Chateau	05.09.19～ 06.01.08	幕末に活躍した浮世絵師、歌川国貞の作品を展示。北斎、広重の影に隠れ、当地では知名度の低い国貞作品を、まとめて紹介する初めての試み。作品はチェコの主要な美術館、ギャラリーで収集している1,200点の中から選出
34	19th century Japanese Lacquer art -Maki-e	ハンガリー (ブダペスト)	Ferenc Hopp Museum of Eastern Asiatic Arts	05.05.26～ 06.02.15	江戸末期から明治期に作られた漆器(蒔絵)の展覧会。婚礼調度品、硯箱、香箱、文箱、筆筒等を展示
35	Fragments of Reality- Japanese Contemporary Photography	ブルガリア (ソフィア)	National Art Gallery	05.10.13～ 05.11.06	主にヨーロッパで活躍する4名のアーティストによる写真展。第16回「日本文化月間」の関連行事。日本人の眼が捉えたヨーロッパ各地の風景は同時に、現代の日本人の感性を写し出した
36	The Common Garden - Polish- Japanese Instalation Project	ポーランド (クラクフ) (ウージ)	"Manggha" Centre Central Textile Museum	05.10.14～ 05.12.30 05.05.12～ 05.06.30	テキスタイルの分野で活躍する日本、ポーランドのアーティスト各4名によるインスタレーション。個々の作家の作品を並べるというのではなく、共通スペースでの1つの作品として、展示
37	Conversations with Snow and Ice -observation/ Imagination in Art and Science	ラトビア(リガ)	Natural History Museum of Latvia	05.11.10～ 06.01.08	世界で初めて人口雪を開発した科学者、中谷宇吉郎の功績を紹介すると共に、C.ニコライ、高谷史郎らの作品を通じて、自然と芸術の関係を問い直した

	事業名	国(都市)	会場	期間	事業内容
38	5th International Textile Art Biennial "Textile 05"	リトアニア (カウナス)	M. Zilinskas Art Gallery	05.10.21～ 05.12.04	1997年からカウナスで開催されている織物展日本からもキュレーターが選ばれ、9名の作家が参加
39	Rising Sun, Melting Moon: Contemporary Art from Japan	イスラエル (エルサレム)	The Israel Museum	05.12.16～ 06.06.15	日本の現代美術を広い世代にわたって、彫刻、絵画、写真、ビデオ・インスタレーション等多様な作品を通じて紹介する展覧会

2. 催し等事業費	(6) 国内展 (助成)
-----------	--------------

海外の優れた美術・文化のなかで、これまで日本に紹介される機会の少なかった展覧会を国内関係者と共催して実施する。
合計額 9,688,820円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流 2004-2005	渋谷区	05.04.22～ 05.05.22	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流委員会	EU10組、アジア・パシフィック10組の将来を嘱望される建築家を紹介する展覧会。建築を介して、欧州、アジア・太平洋各地域の経験と思想を分かち合い、相互理解と交流を深めることを目的とした
2	イスラエル美術の兆し	23区 横浜市	05.06.10～ 05.07.03 05.06.10～ 05.07.07	イスラエル美術の兆し展実行委員会	イスラエル現代美術の最先端の動向をビデオインスタレーションや写真作品で紹介
3	催福姫 服飾作品展	京都市	05.06.28～ 06.03.11	京都造形芸術大学	韓国の針匠である崔福姫の服飾作品を通じて、朝鮮の服飾文化への理解を図る展覧会。本展は服飾文化を、日常生活に根ざした韓国人の生活文化として提示することを目的として、時代、人生儀礼、日常生活の変遷として分類・展示した
4	「300%スパニッシュ・デザイン」「ファッションとスペインの文化」	さいたま市	05.07.16～ 05.10.10	埼玉県立近代美術館	「300%」: 20世紀スペインで作られた椅子、照明器具、ポスターの代表作各100点を展示、近現代スペインの工業デザイン史を概観。「ファッション」: 「Genio y Figura」(Talent and Body)をキーコンセプトに、スペイン的要素を取り入れた服飾デザインと、その源泉になったモチーフを合わせて展示し、スペイン文化が世界のモードに与えた影響を紹介した

造形美術事業費

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
5	第3回福岡アジア美術トリエンナーレ2005	福岡市	05.09.17～ 05.11.27	第3回福岡アジア美術トリエンナーレ実行委員会	日本を含むアジア21カ国・地域から将来を嘱望される作家を選定して、アジア地域の最新動向を紹介するトリエンナーレの第3回目。絵画、彫刻、インスタレーション、映像作品などの展示のほかに、出品作家による公開滞在制作、ワークショップ、パフォーマンスやトークなどの交流事業を行ない、来館者との交流を促進した
6	レイチェル・ロザレン展	横浜市	05.10.01～ 05.10.30	ロザレン展実行委員会	ブラジルの若手女性作家レイチェル・ロザレンの個展。都市と身体、欲望との関係をテーマとした映像インスタレーション作品を発表
7	マリ＝アンジュ・ギュミノ－キモノから	京都市	05.10.01～ 05.10.30	財団法人京都市芸術文化協会	京都の着物をテーマにした作品と、京都の着物文化をフランス人が解釈・紹介する展覧会。パフォーマンスとしてのファッションショーも開催。作家は3カ月間アーティスト・イン・レジデンスにて京都に滞在し、共同制作等を行なった
8	MobLab－日独メディア・キャンプ 2005	－	05.10.21～ 05.10.23	MobLab実行委員会	バスに日独のアーティストが乗り込み、日本各地を移動しながらプロジェクトを展開していく新しい形のアートイベント。ICC、IAMAS、せんだいメディアテークなど、各地のホストへと移動し、3週間にわたってイベントやワークショップを繰り返し広げた
9	マリオ・ディアス写真展キューバ1980-2000	東京都	05.11.21～ 05.12.20	東京工芸大学芸術学部芸術情報館	日本キューバ外交関係開設75周年を記念し、マリオ・ディアスを始めとする現代キューバの写真、ポスター、映画等、多彩なキューバ芸術を紹介した
10	エルンスト・バルラハ展 ドイツ表現派彫刻の巨匠	京都市 東京都 甲府市	06.02.02～ 06.04.02 06.04.12～ 06.05.28 06.06.03～ 06.07.17	朝日新聞社	ドイツ表現主義の彫刻家であるエルンスト・バルラハの彫刻作品など120点による大規模な回顧展。ドイツ中世以来の伝統的な宗教的性や地域性に根ざした根源的な魂の追求を表現した作品を展示。京都国立近代美術館等で開催
11	人間の未来へ－ダークサイドからの逃走	水戸市	06.02.25～ 06.05.07	水戸市芸術振興協会	混沌とした時代にあって人間がどこまで他者への理解や人間の尊厳に対する自覚を呼び返すことができるかをテーマに、現代の報道写真とインスタレーション、映像作品、彫刻などの作品を組み合わせた、日本を含む6カ国13名の報道写真家・アーティストによる展示

造形美術事業費

2. 催し等事業費 (7) 造形美術情報交流(催し)

日本および海外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 8,523,006円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	中・東欧グループ招へい	スロベニア/ スロバキア/ チェコ/ハン ガリー/ポー ランド	05.12.05～ 05.12.18	－	日本の美術関係機関視察および関係者との交流を目的として、中・東欧の美術関係者8名を日本に招へい

2. 催し等事業費 (8) 「愛・地球博」途上国支援事業

愛知万博に参加する一部の途上国が行なう展示事業の経費の一部を支援する。

合計額 54,587,787円

	事業名	都市	期間	助成団体	事業内容
1	展示物国内輸送助成	愛知県その他	05.03.25～ 05.09.25	財団法人2005年 日本国際博覧会 協会	愛知万博に参加する途上国のうち、後発開発途上国(LDC)と低所得国(LIC)49カ国の実施する展示事業を支援

3. 催し等事業費 (トリエンナーレ) 国際展 (横浜トリエンナーレ)

大規模な国際美術展を日本国内において定期的に開催し、世界の現代美術を一般に広く紹介する。

合計額 45,631,718円

	事業名	国	期間	共催者	事業内容
1	横浜トリエンナーレ2005	全世界区分困難	05.09.28～ 05.12.18	横浜市/NHK/ 朝日新聞社/横 浜トリエンナー レ組織委員会	現代美術の国際展「横浜トリエンナーレ」の第2回展。2005年9月28日から12月18日まで、横浜市の山下埠頭の倉庫をメイン会場に実施。総合ディレクターは、現代美術家の川俣正。全体テーマ「アートサーカス(日常からの跳躍)」の下、30カ国・地域より86名の作家が参加し、多彩な作品を展示